

第11回「一宮の魅力ある海岸づくり会議」
海岸づくり会議の経緯と今後の進め方

平成28年 2月7日

一宮町・千葉県長生土木事務所

1. 海岸づくり会議の経緯

(1) 会議の目的と協議内容（規約より）

【会議の目的】

一宮町の海岸において、**防護、利用及び環境を考慮した海岸侵食対策**について協議を進め、魅力ある海岸づくりに資することを目的とする。

【会議の協議内容】

- ① 海岸侵食状況の把握について
- ② 海岸侵食対策について
- ③ その他、会議が必要と認めた事項について

1. 海づくり会議の経緯 (2) 開催状況①

「一宮の魅力ある海岸づくり会議」の設立の経緯等

- ・平成21年7月4日に第1回「一宮の海を考える集い」を開催（平成22年1月に6号ヘッドランド工事着工）
- ・平成22年2月4日に「一宮の海岸環境を考える会」が設立され、ヘッドランド事業に関する問題を提起し、署名を開始
- ・平成22年2月16日に署名の動きを受けて「海岸侵食対策緊急打合せ会議」を開催（行政および関係団体の代表者等）
- ・平成22年2月23日に「6号ヘッドランド工事の一時中止の要望」に関する署名趣意書（署名者35,930人）を国・県・町に提出
- ・平成22年4月10日に第2回「一宮の海を考える集い」を開催 ⇒ 「海岸づくり会議の設立」に向けた準備・調整を開始
- ・平成22年10月に「海岸利用計画検討委員会」を設立（平成23年11月までに4回開催、まちづくりプロジェクトの提案等）

第1回 会議（平成22年6月7日）

- ・ 海岸づくり会議の設立趣旨等
- ・ 南九十九里浜の海岸侵食の状況
- ・ 千葉県内の住民会議の実績

第2回 会議（平成22年9月19日）

- ・ 自然環境の状況
- ・ 漁業（地引き網）の状況
- ・ サーフィンの状況
- ・ 海水浴利用の状況
- ・ 海岸侵食対策の現状

養浜を実施することを了承

第3回 会議（平成22年12月23日）

- ・ 一宮海岸の地形変化のメカニズム
- ・ 8号ヘッドランドの縦堤の延伸
- ・ 2-3号ヘッドランド間の小突堤の延伸

8号ヘッドランドと小突堤の延伸を了承

第4回 会議（平成23年3月6日）

- ・ 6号ヘッドランド計画（縦堤と横堤の規模）の検討結果

第5回 会議（平成23年9月3日）

- ・ 東北地方太平洋沖地震津波の被害状況
- ・ 6号ヘッドランド計画の追加検討結果

6号ヘッドランド計画と養浜を了承

1. 海づくり会議の経緯 (2) 開催状況②

第6回 会議 (平成24年9月29日)

- ・ 一宮海岸の現状
- ・ 今後の海岸保全計画
- ・ 4号ヘッドランドの横堤延伸計画

4号ヘッドランド計画と養浜を了承

第7回 会議 (平成25年2月23日)

- ・ 3-4号ヘッドランド間の養浜計画
- ・ 2-3号ヘッドランド間の対策
- ・ 砂浜海岸の地形と生物の関係

第8回 会議 (平成25年10月12日)

- ・ 神向寺海岸 (粗粒材養浜) の視察結果
- ・ 一宮海岸の現状
- ・ 粗粒材養浜の試験施工計画
- ・ 2-3号ヘッドランド間の養浜の効果と今後の対策

- ・ 1-2号ヘッドランド間における500m³の粗粒材養浜の予備試験施工を了承
- ・ 2-3号ヘッドランド間の小突堤と養浜の計画を了承

第9回 会議 (平成26年3月9日)

- ・ 1-2号ヘッドランド間の粗粒材養浜の予備試験の施工状況
- ・ 予備試験施工のモニタリング計画と事前モニタリング結果
- ・ 今後のヘッドランド整備計画 (5号堤と小突堤)

第10回 会議 (平成26年10月5日)

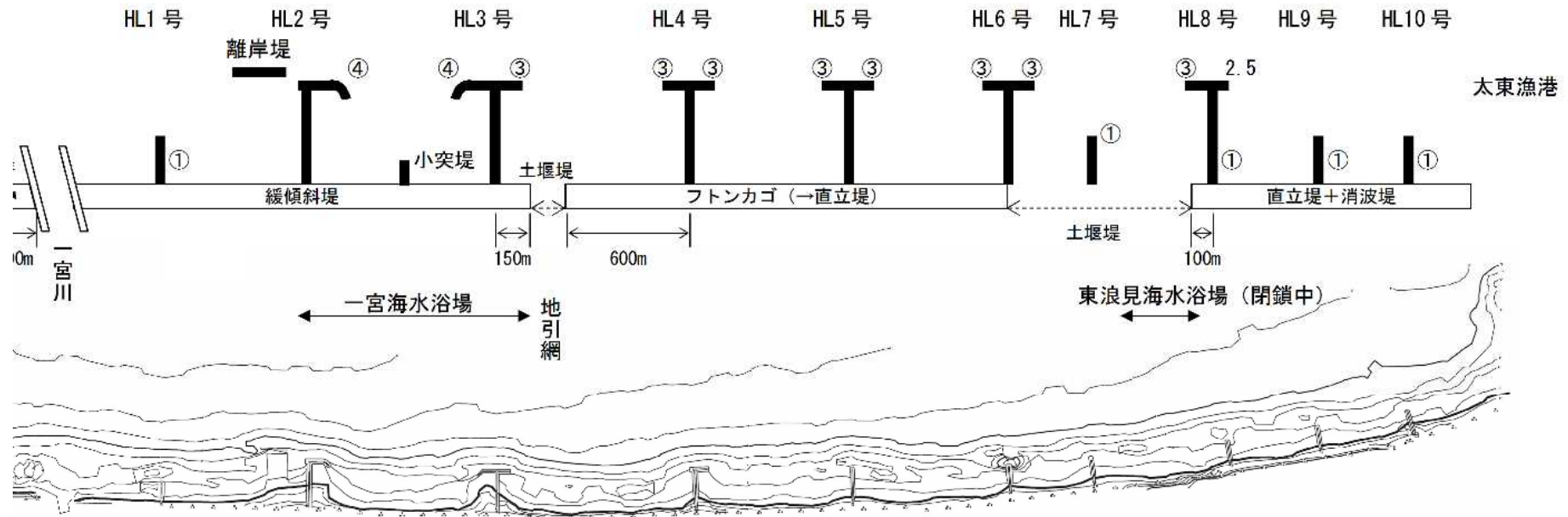
- ・ 九十九里浜の最近の状況
- ・ 南九十九里浜の生物環境
- ・ 粗粒材養浜の予備試験施工の結果 (中間報告)

第11回 会議 (平成28年2月7日)

- ・ 粗粒材養浜予備試験施工のモニタリング調査結果の報告
- ・ 小突堤の整備状況の報告
- ・ 海づくり会議の今後の進め方

2. 一宮海岸の今後の海岸整備について

【平成27年度末のヘッドランドの設置状況】



- ・ヘッドランドの整備については、現在の形状で当初計画と同等の漂砂制御効果が得られる結果であることから、現状施設で経過観察を行い、当面、整備はしないものとする。
- ・一宮海岸全体の侵食状況の監視を行うとともに、養浜等の対策を必要に応じて実施する。
- ・南九十九里浜全体を見ると、これまでは一宮海岸に集中して事業が行われてきたが、一松海岸等の侵食対策の緊急性が高まっており、他海岸の対策に着手することも必要となってきている。

3. 今後の海岸づくり会議について

【一宮海岸の将来像の共有】

- ・一宮海岸の共通した将来像（望ましい姿）を描き、その実現に向かって、県・町・地元等の各主体において事業や活動を推進することを目指す。
- ・一宮海岸の将来像については、防護・利用・環境の調整を図ったうえで、実現可能な姿を共有する。

防護：侵食状況の監視，中長期的な侵食対策の検討

利用：海岸利用促進策の立案

環境：自然環境の阻害要因の把握，環境保全活動の推進

【今後の海岸づくり会議について】

- ・一宮海岸を含めた九十九里浜全体の侵食対策の計画について検討を行っており、一宮海岸の侵食対策に関しては、九十九里浜全体計画の策定に向けた枠組みのなかで行うこととする。
- ・海岸の利用促進及び自然環境の保全を図るための計画については、一宮町の「海岸利用計画検討委員会」において検討を進めることとする。
- ・一宮海岸の施設整備の検討事項が発生した場合には、「一宮の魅力ある海岸づくり会議」を必要に応じて開催する。